

アジャイル開発講座「アジャイル開発の基本」コース詳細 ～アジャイル開発活用の推進役となるために～

1. 講座趣旨

本コースは e-Learning と集合型ワークショップを組み合わせたものとなっています。スクラムの構成要素及びアジャイル開発における要求の取り扱いを理解するためには、講義だけでは不十分であり、グループでの実践体験が必要なものを補うために集合型ワークショップも組み込んだ講座構成になっています。アジャイル開発の活用を推進する方にとって、その役割を果たすための入門的な知識が身に付くことを狙いとしています。

2. 講座実施期間

平成 31 年 2 月 1 日(金)～平成 31 年 3 月 16 日(土)

※3月2日の集合ワークショップまでに、事前学習として Udemy サイトから計 3 時間程度の講義動画視聴をお願いします。

URL <https://www.udemy.com/jisaag-kpjleufc/> (無料会員登録必要)

※別途、講師より各講座 (Module) ごとのミニレポートの指示があります。なお、ミニレポートは、3 月 16 日が最終提出締切となります。

3. 集合ワークショップ

上記期間のうち下記日時は、仙台・東京の各会場にて集合ワークショップを実施し、ZOOM で接続します。

【日時】 平成 31 年 3 月 2 日 (土) 10:00 - 17:00

【仙台会場】 仙台市中小企業活性化センター セミナールーム (予定)

仙台市青葉区中央 1-3-1 AER6F <http://www.siip.city.sendai.jp/sckc/>

4. 必要機材

e-learning は自宅での視聴も想定されます。また、課題等の連絡のためにネット上のグループウェアを利用する予定です。これらの状況に対応できる IT 環境が必要になります。(ワークショップ時の PC 持ち出しは不要です。)

5. 到達目標

- ・アジャイル開発の利点とウォーターフォール開発との違いを理解している
- ・スクラムの実践に備えて、スクラムのイベント・役割・成果物を理解するとともに、それらの基本的な実践イメージを持てる
- ・アジャイル開発における要求の体系を理解し、ユーザーストーリーを書いたりユーザーストーリーマッピングを基本的なレベルで実践できるようになる
- ・アジャイル開発を活用する上での障害とそれらの障害を克服するための観点を理解する

6. 講座内容

講義 モジュール	内容
【Module1】 講義動画視聴 約 35 分+レポート	◆アジャイル開発超入門 -アジャイル開発の普及状況とその背景 -アジャイル開発の特徴 -世の中の代表的なアジャイル手法やフレームワーク
【Module2】 講義動画視聴 約 25 分+レポート	◆スクラム入門（その1） -スクラムの構成要素と基本概念プロダクトバックログ -スプリント計画とバックログの手入れ
【Module3】 講義動画視聴 約 35 分+レポート	◆スクラム入門（その2） -スプリント計画策定後のイベント、成果物、基準 -スクラムマスター -事例紹介
【Module4】 講義動画視聴 約 35 分+レポート	◆アジャイル要求入門 -ユーザーストーリー -ユーザーストーリーに先だって検討されるべきこと -アイデアの発想と妥当性確認 -ユーザーストーリーマッピング
【Module5】 講義動画視聴 約 60 分+レポート	◆エンタープライズアジャイルの可能性と実現への提言 -日本におけるエンタープライズアジャイルの3つの可能性 -チームレベルのアジャイル開発 -チームレベルを越えてアジャイル開発を活用するための観点
上記 Module1～5 の講義動画について、3/2 開催の集合研修までに Udemy サイト (https://www.udemy.com/jisaag-kpjleufc/) にて視聴を完了してください。レポートの最終 提出締切は 3/16 です。	
【集合研修】 3/2(土) 10:00～17:00 (6 時間)	◆集合研修 -スプリント計画の体験 -紙飛行機工場ゲーム -ユーザーストーリー作成とユーザーストーリーマッピング体験 -アジャイル開発活用を阻む障害の議論と Fearless journey ゲーム

7. 講師

株式会社オーグス総研 技術部アジャイル開発センター長 藤井 拓 氏

<講師プロフィール>

オーグス総研にて技術部アジャイル開発センター長を務めており、ソフトウェア開発プロジェクトの測定、アジャイル開発を含む反復的な開発手法やモデリングの実践、研究、教育や普及に従事している。また、エンタープライズアジャイル勉強会というコミュニティの実行委員長を務めている。主な監訳書として『アジャイルモデリング』（翔泳社、2003年）、『アジャイルソフトウェア要求』（翔泳社、2014年）、『発見から納品へ』（BookWay、2014）、『SAFe 4.0のエッセンス』（エスアイビーアクセス、2018）等がある。

認定スクラムマスター、認定プロダクトオーナー、SAFe Program Consultant 4、技術士（情報工学部門）、博士（情報学）。

以上